

資料4

国際興業バス
中藤・中沢線 間野黒指線

バス路線の最適化について

令和3年6月21日（月）

飯能市地域公共交通対策協議会

地域公共交通網形成計画

地域公共交通網形成計画（H30-R4）の策定

- ・H23 東日本大震災
- ・**H24 国際興業バス飯能営業所 撤退問題**
- ・H26 飯能市地域公共交通基本計画策定
- ・H28 庁内に交通政策室設置
- ・H28 大幅減便
 - ⇒中藤・中沢線 11便/日 ▷ 7便/日
 - ⇒間野黒指線 7便/日 ▷ 5便/日
- ・H30 飯能市地域公共交通網形成計画策定（計画期間：R4まで）

地域公共交通網形成計画での整理

地域公共交通網形成の取組イメージ (P.74)

○市内の「都市拠点」や「生活拠点」
を連絡する「軸」の強化

○拠点から地区内へと伸びる「支線」
の最適化



バス路線網
の再編

地域公共交通網形成計画での整理

地域公共交通網形成の取組イメージ (P.78図)

軸



国際興業バス
○名栗本線
(飯能駅～下名栗)

強化

支線

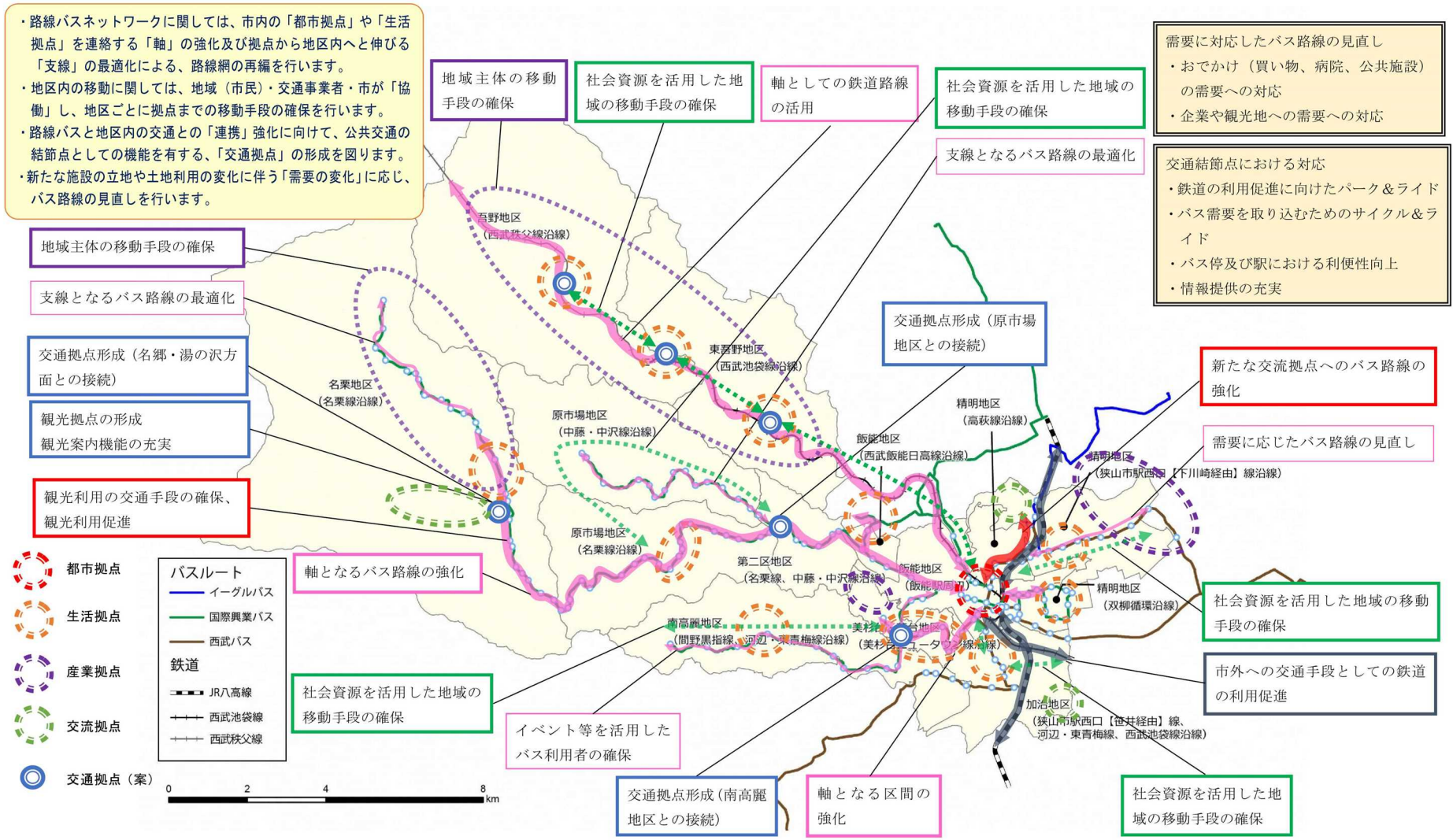


○中藤・中沢線
○間野黒指線

最適化

地域公共交通網形成計画での整理

【地域公共交通網形成の取組イメージ】



支線路線の状況

○採算をとるのが極めて難しい状況

- ・市からの補助金 **中沢線** (H23～) 毎年度 470万円
 - 間野黒指線** (H18～) 毎年度 390万1千円
- 赤字分の一部補助であり、残りは運行事業者の負担による。

○利用者は極めて少数

- ・少子高齢化による利用者の減少
 - ・平均乗車密度 約3～4人／77人乗りバス
- 空席が目立つ運行状況である。

⇒ **支線の最適化の必要性**

地域公共交通網形成計画での整理

拠点と軸の考え方 (P.75)

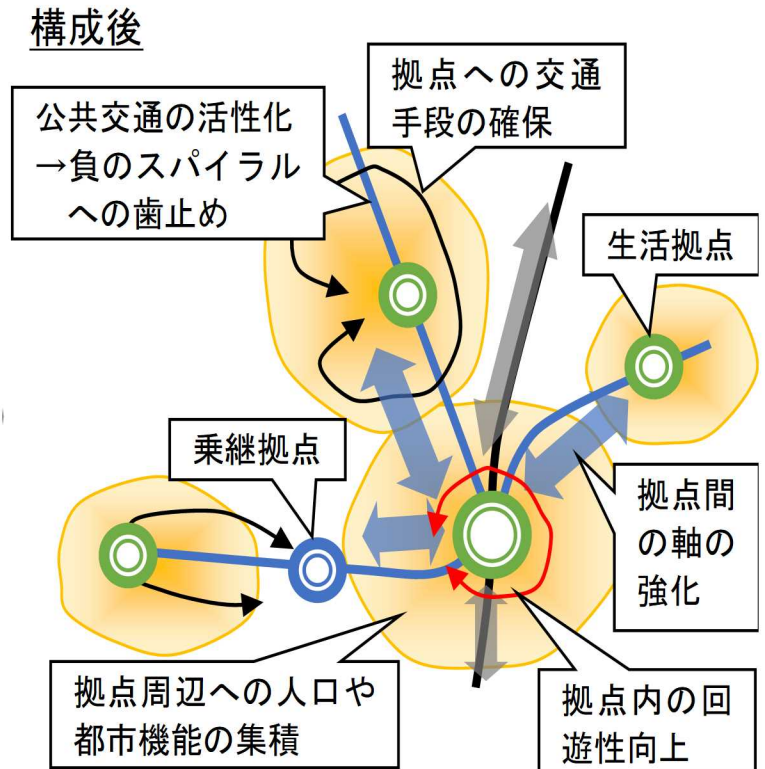
○拠点の考え方

- ・地区の核となる区域
- ・生活のための機能や交通結節機能を持たせる
(利便性向上)

○軸の考え方

- ・市内の各拠点を連絡
- ・一定以上のサービス水準確保 (運行頻度、輸送力等)

⇒支線で「拠点」まで行けば「軸」で地域間 (市外) 移動ができる。



地域公共交通網形成計画での整理

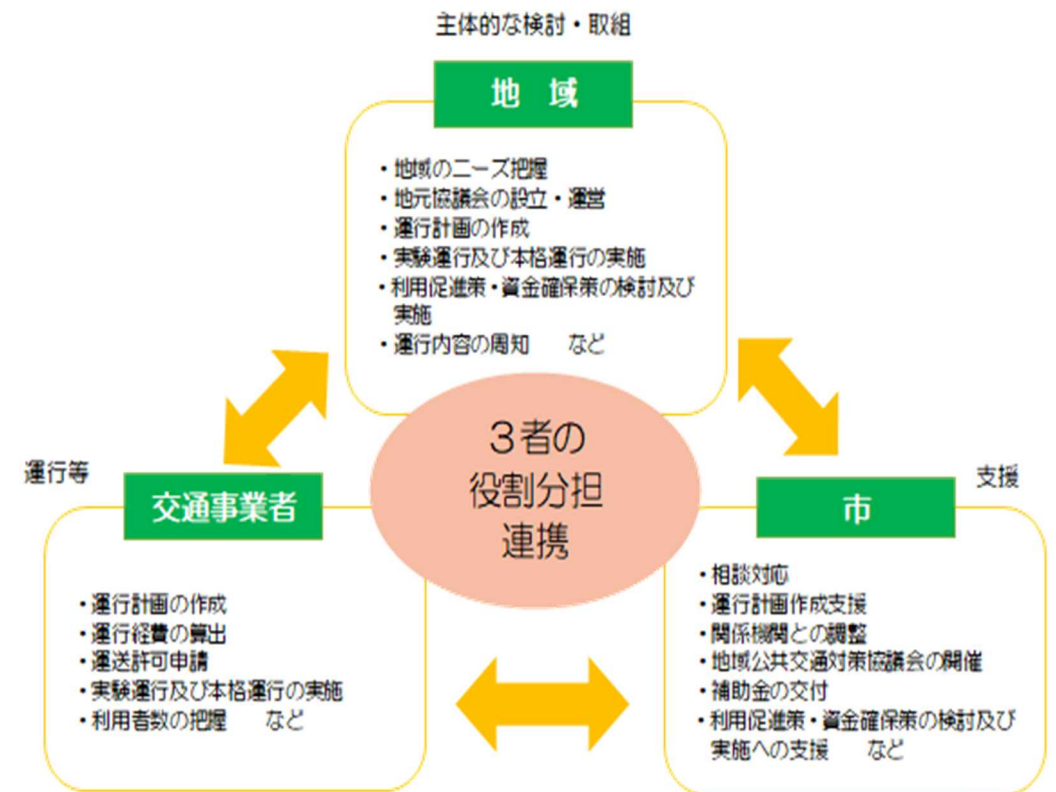
地域公共交通網形成の取組イメージ (P.74)

○役割分担

地区内の移動に関しては、

地域（市民）・市・交通事業者が

**「協働」し、地区ごとの拠点までの
移動手段の確保を行います。**



地域公共交通網形成計画での整理

まとめると、

支線の最適化のポイント

- ①各地区の「拠点」はどこか。 →生活拠点？交通拠点？
- ②どのような「手段」が最適か。 →路線型？区域型？
- ③地域、市、交通事業者の「役割分担」はどうするか。

現狀

中藤・中沢地区の現状

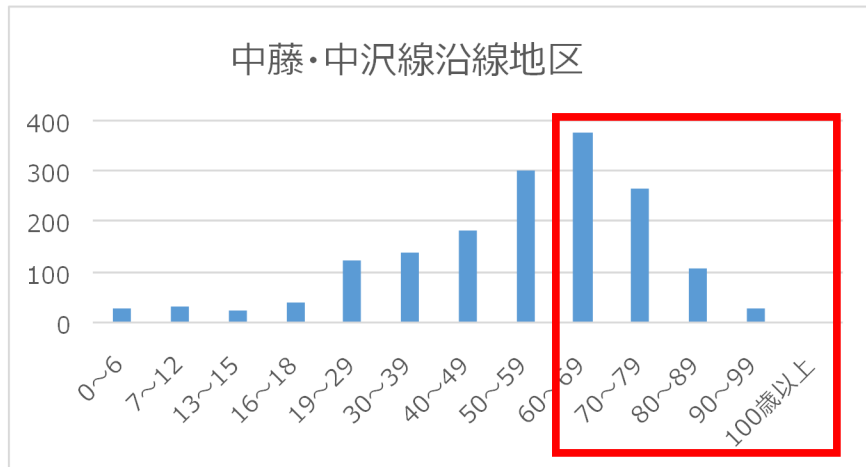
中藤・中沢地区の現状

年齢別人口 (R2年1月現在)

丁字名	0~6	7~12	13~15	16~18	19~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~99	100歳以上	世帯数	人口総数
中藤・中沢	27	33	26	40	123	139	184	302	375	266	106	30	0	796	1651
中藤下郷	14	13	13	22	78	83	101	163	217	141	44	16	0	429	905
中藤中郷	6	13	7	14	25	34	47	84	75	78	28	5	0	198	416
中藤上郷	7	6	6	3	16	14	30	38	60	32	14	2	0	116	228
南	0	1	0	1	4	8	6	17	23	15	20	7	0	53	102

⇒60歳以上の人口

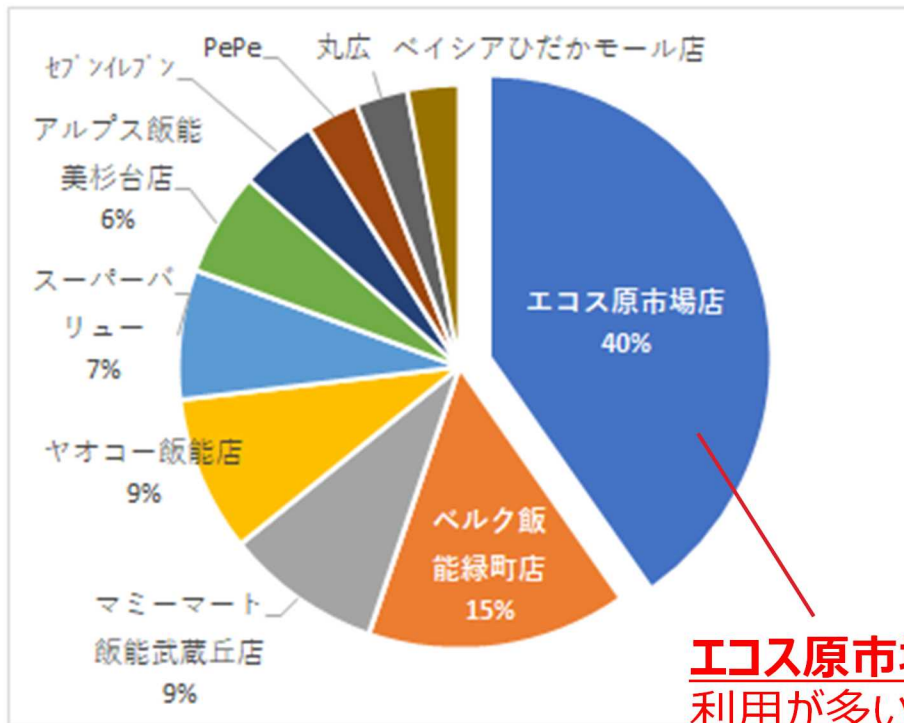
約47%



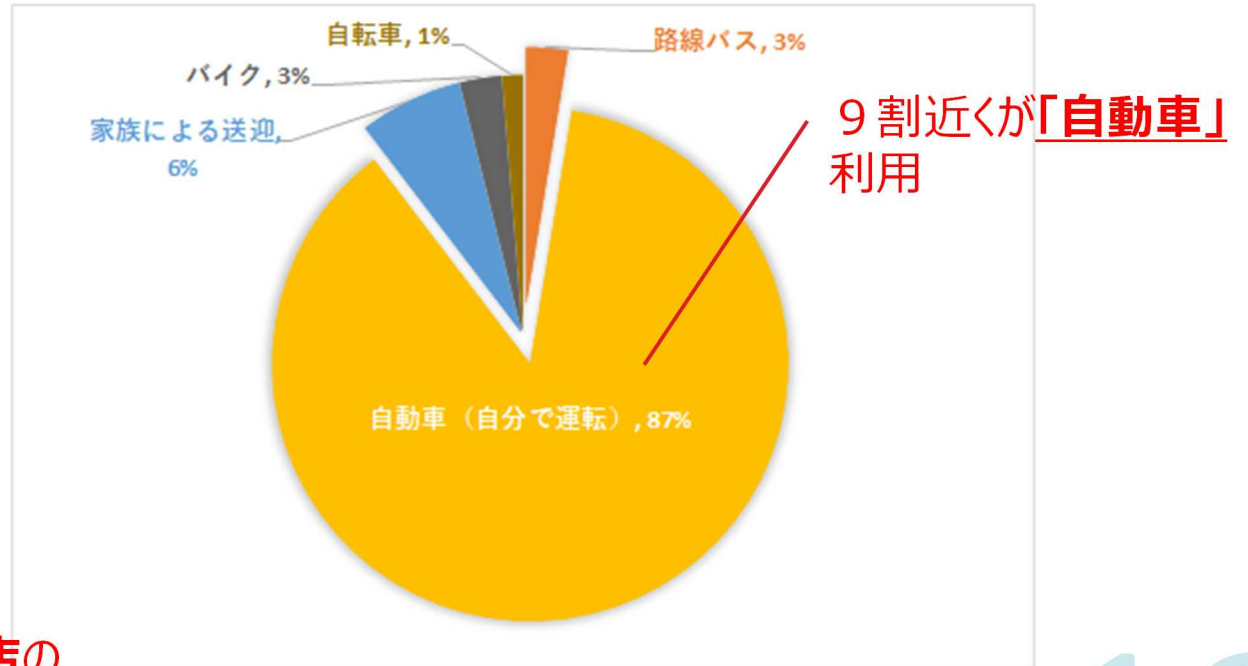
中藤・中沢地区の現状

市民アンケート調査 (H29年度実施)

■ 日常の移動先 (食料品の買い物)



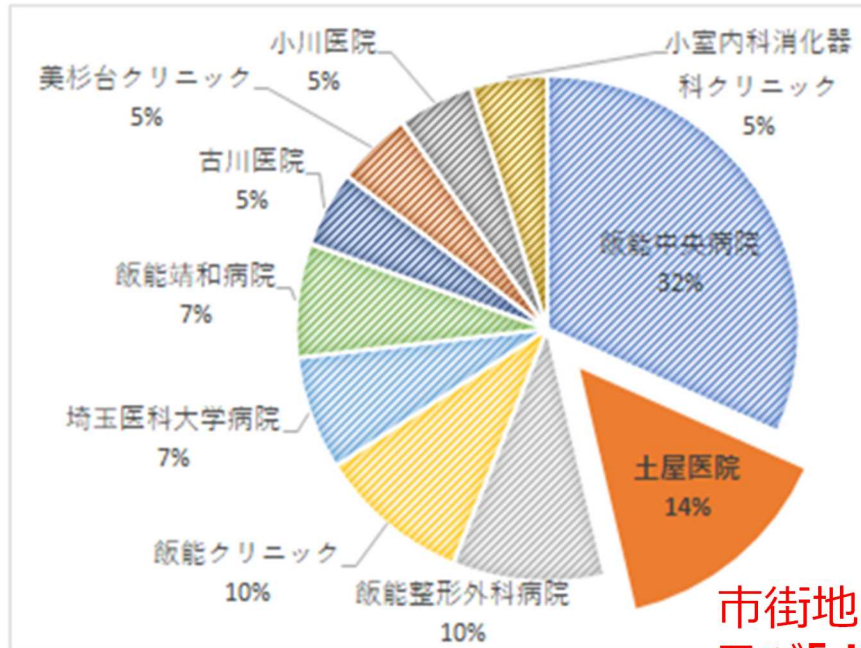
■ 日常の移動手段 (食料品の買い物)



中藤・中沢地区の現状

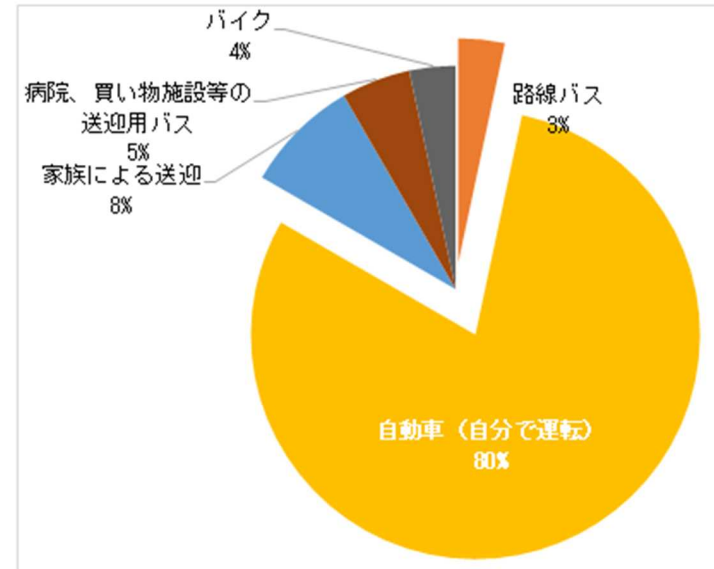
市民アンケート調査 (H29年度実施)

■ 日常の移動先 (医療機関)



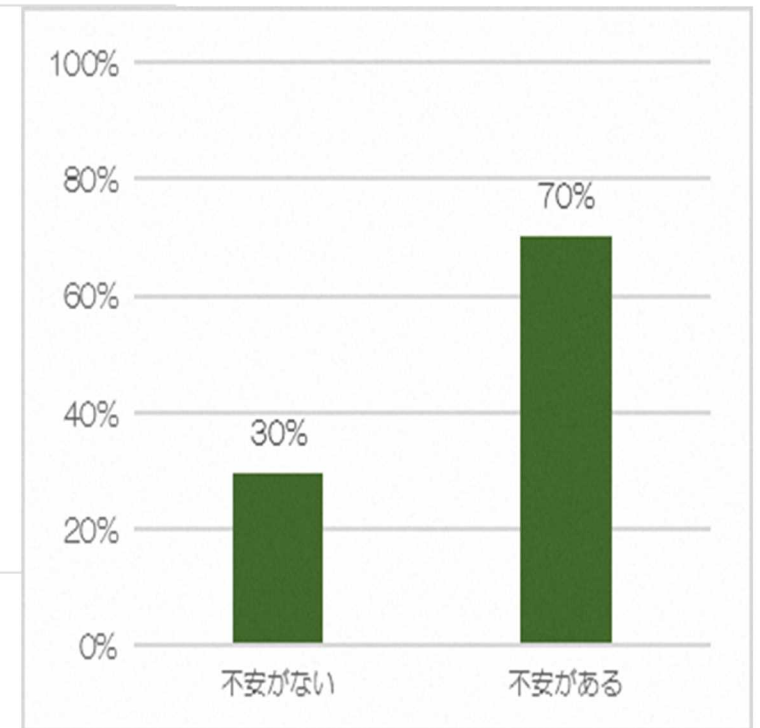
市街地の医療機関
及び「土屋医院」の
利用が多い。

■ 日常の移動手段 (医療機関)



8割近くが「自動車」
利用

■ 将来の外出への不安



国際興業バス中藤・中沢線の現状

概要

■便数 平日 7 便 土休日 4 便

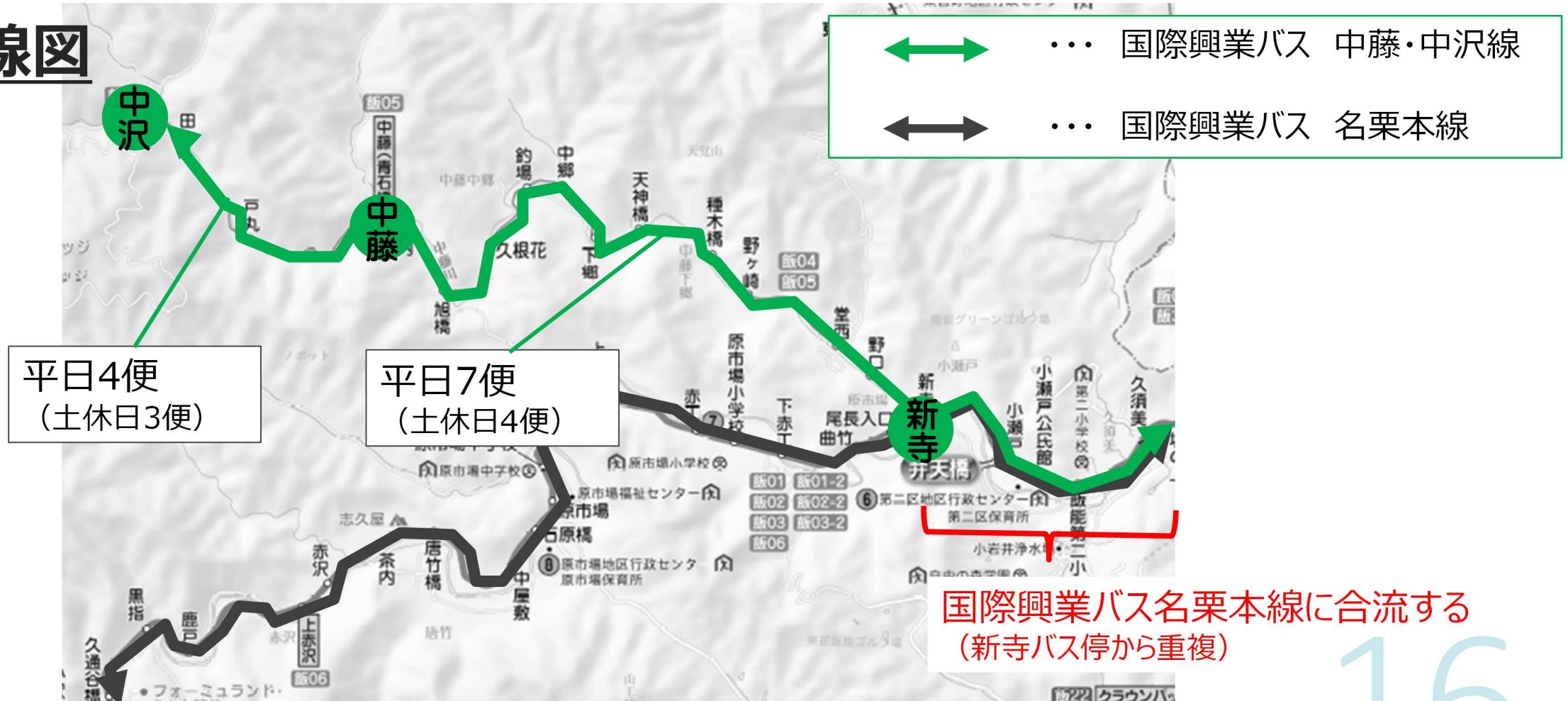
〔 中沢線（飯04 飯能駅～中沢）：平日4便 土休日3便
中藤線（飯05 飯能駅～中藤）：平日3便 土休日1便 〕

時刻	飯能駅行
6	25（中藤発）
7	05
8	
9	35
10	
11	
12	
13	20（中藤発）
14	
15	35
16	
17	55
18	
19	26（中藤発）

時刻	中沢行
6	24
7	
8	30
9	
10	
11	
12	32（中藤止まり）
13	
14	44
15	
16	55
17	
18	36（中藤止まり）
19	55（中藤止まり）

国際興業バス中藤・中沢線の現状

路線図



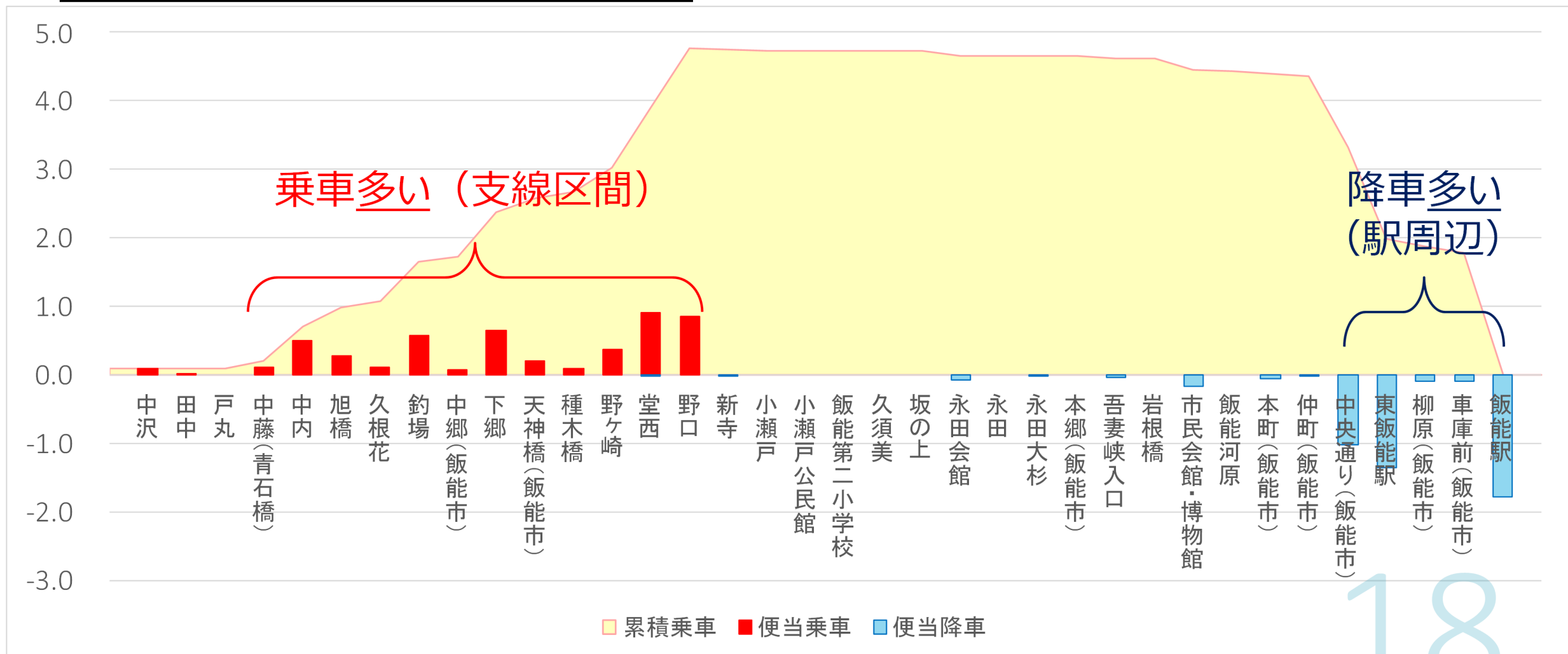
国際興業バス中藤・中沢線の現状

利用状況調査 (R 1 乗降データより)

	下り (飯能駅 ⇒ 中藤／中沢)	上り (中藤／中沢 ⇒ 飯能駅)
中沢線 飯04	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者 便平均3.1人 ・乗車 「飯能駅」、次いで「東飯能駅」が多い。 ・降車 「野口」～「中藤（青石橋）」間が多い。 ※「中沢」までの利用者は少数である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者 便平均4.9人 ・乗車 「中藤（青石橋）」～「野口」間が多い。 ・降車 「飯能駅」、次いで「東飯能駅」「中央通り」が多い。 ※「中沢」～「戸丸」間はほとんど利用されていない。
中藤線 飯05	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者 便平均4.0人 ・乗車 「飯能駅」、次いで「東飯能駅」が多い。 ・降車 「野口」～「中藤（青石橋）」間が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者 便平均2.7人 ・乗車 「堂西」、「野口」が多い。 全てが「中藤（青石橋）」～「野口」間に分布。 ・降車 「東飯能駅」、次いで「飯能駅」「中央通り」が多い。

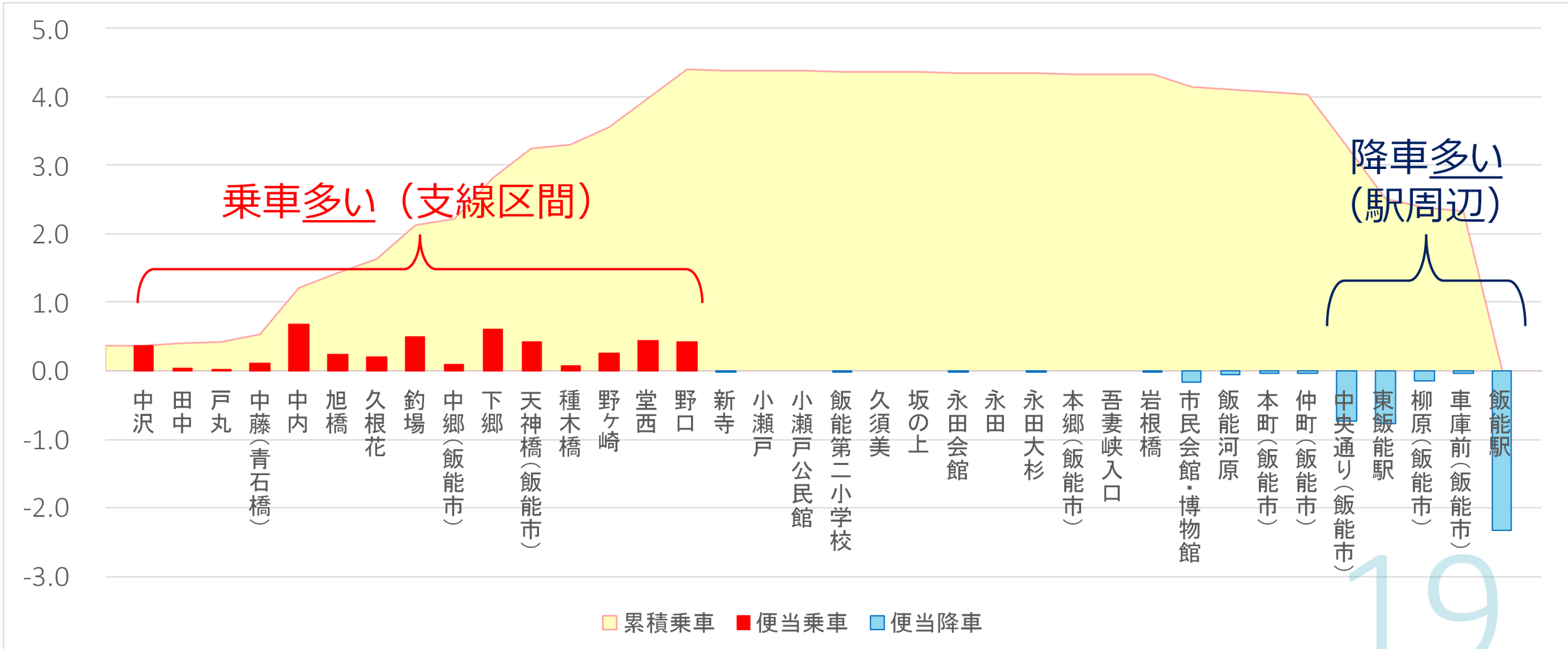
国際興業バス中藤・中沢線の現状

利用状況調査【上り線・平日】 (R1年度 乗降データより)



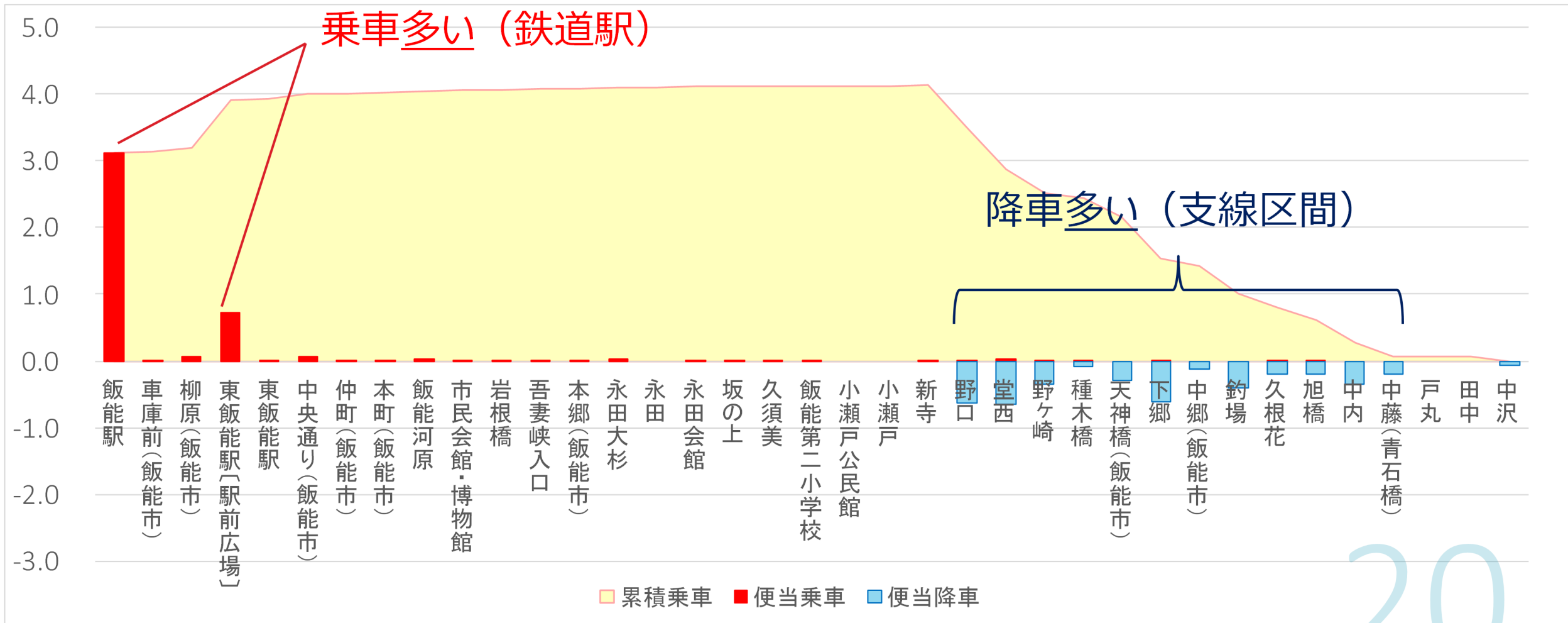
国際興業バス中藤・中沢線の現状

利用状況調査【上り線・休日】 (R1年度 乗降データより)



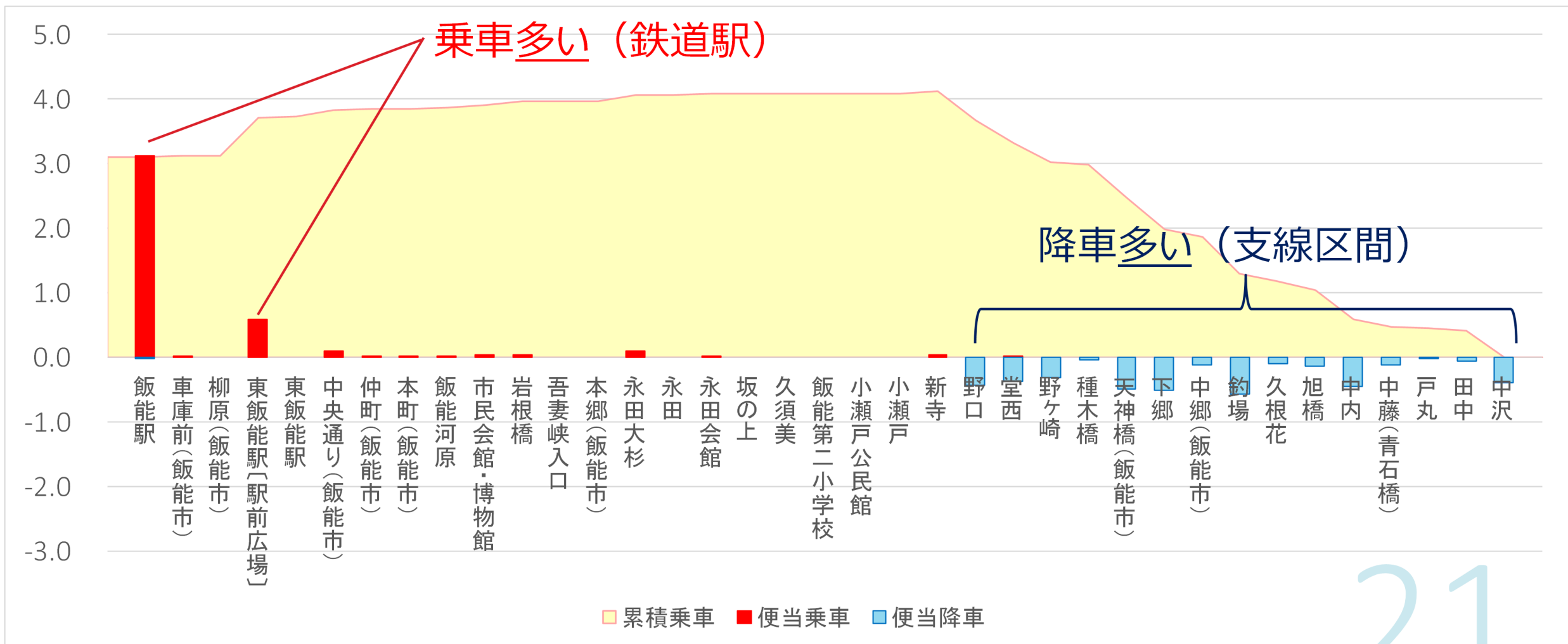
国際興業バス中藤・中沢線の現状

利用状況調査【下り線・平日】 (R1年度 乗降データより)



国際興業バス中藤・中沢線の現状

利用状況調査【下り線・休日】 (R1年度 乗降データより)



国際興業バス中藤・中沢線の現状

利用状況調査 (R3.1.19実施 乗込調査より)

上り (飯能駅行)

便	小学	中高	一般	高齢	合計
6時25分発	0	0	4	0	4
7時00分発	0	2	11	1	14
9時30分発	0	0	3	4	7
13時20分発	0	0	3	3	6
15時30分発	0	0	6	0	6
17時50分発	0	0	2	0	2
19時26分発	0	0	1	0	1
合計	0	2	30	8	40

下り (中藤・中沢行)

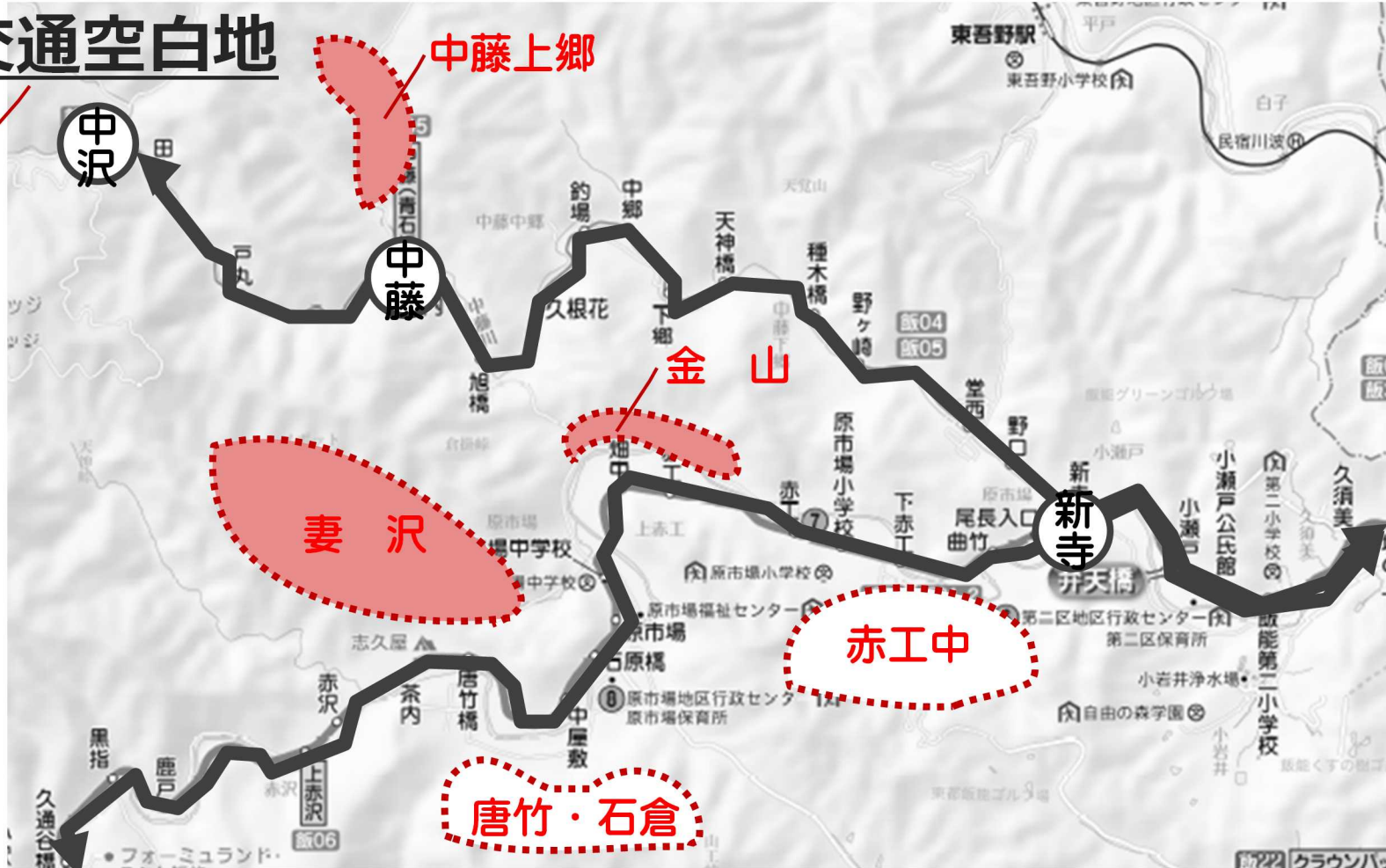
便	小学	中高	一般	高齢	合計
6時24分発	0	0	1	0	1
8時30分発	0	0	4	0	4
12時32分発	0	0	7	4	11
14時44分発	5	0	2	1	8
16時55分発	0	4	7	0	11
18時36分発	0	0	10	0	10
19時55分発	0	1	3	0	4
合計	5	5	34	5	49

⇒ 朝夕は通勤・通学利用のため比較的需要があり、10～20人程度の利用がある。

中藤・中沢地区の現状

公共交通空白地

南



中藤・中沢地区の現状

その他の移動手段

① 原市場小学校スクールバス

- ・路線 中沢～原市場小、久林～原市場小
- ・車両 大型バス
- ・運行 国際興業バス（路線運行）
- ・所管 教育総務課

② 原市場福祉センター送迎車

- ・路線 利用者の自宅～原市場福祉センター（利用団体加入者のみ）
- ・車両 10人乗りワゴン（市のリース車両）
- ・運行 有償ボランティアドライバー 3名
- ・所管 地域・生活福祉課

中藤・中沢地区の現状

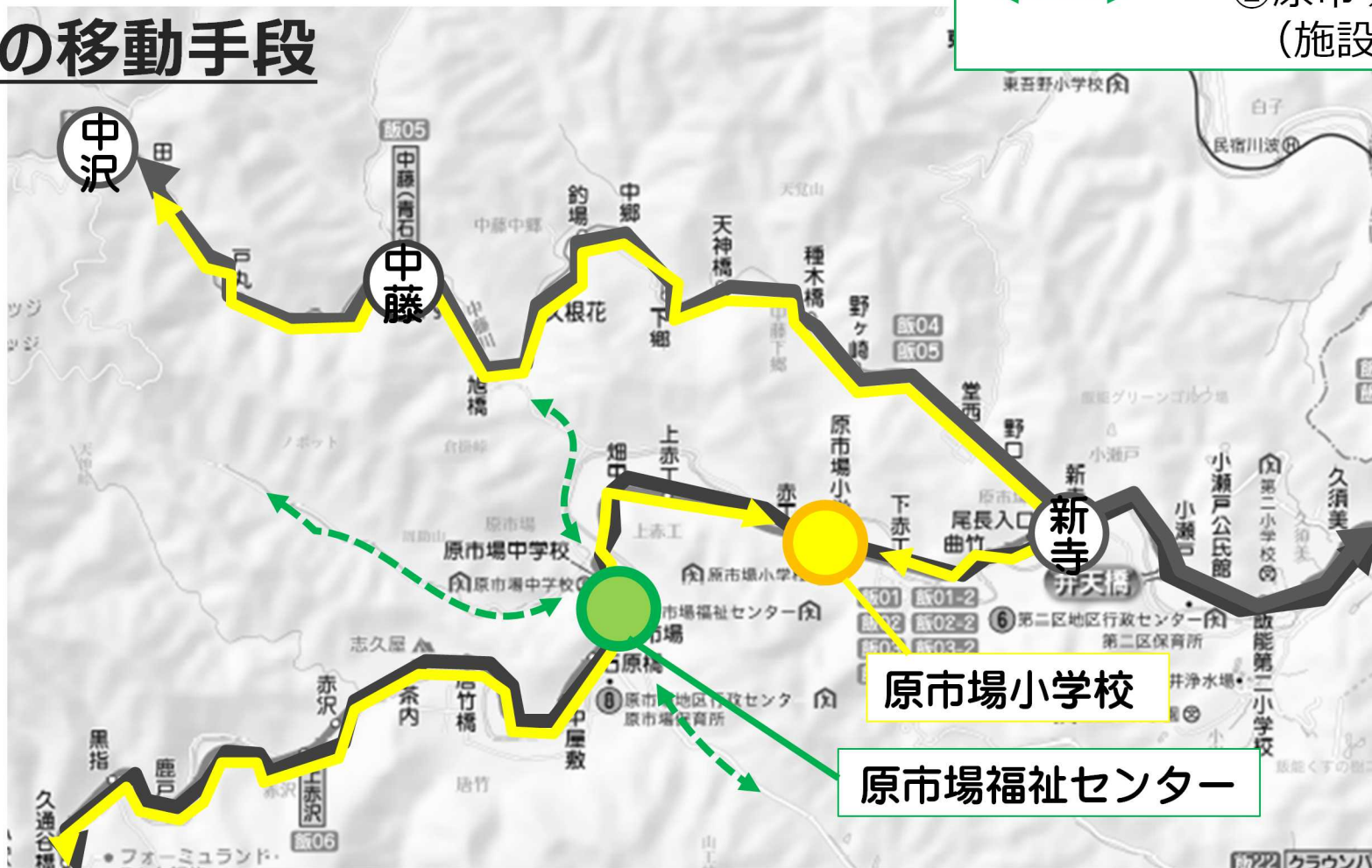
その他の移動手段



…①原市場小学校スクールバス



…②原市場福祉センター送迎車
(施設利用者のみ)



原市場小学校

原市場福祉センター

まとめ

中藤・中沢（原市場）地区の現状

- 買い物先は「エコス原市場店」、通院先は市街地の機関及び「土屋医院」が多い。
- 中藤上郷、金山、妻沢などバス停にアクセスしづらい地域が認められる。
- 原市場小学校スクールバス、原市場福祉センター送迎車を活用できる可能性がある。

中藤・中沢線の現状

- 少子高齢化等の影響で、輸送実績が悪化している。
- 市は毎年460万円の補助金を交付している。（H26～）
- 朝夕は、通勤・通学のため比較的まとまった需要がある。
- 「中藤（青石橋）」～「中沢」の利用が極めて少ない。

まとめ

最適化の方向性（案）

- ① 平日朝夕は大型バスの運行（スクールバスの活用を含める）を維持し、通勤・通学者の駅までの輸送を検討する。
- ② それ以外の時間帯について、路線バスではない新しい移動手段を導入する。
- ③ 国際興業バス名栗本線（軸の路線）に接続する「拠点」を設ける。
 - ・主に高齢者が、日中の買い物、通院をかなえられる移動手段とする。
 - ・拠点で路線バスに乗り換えることにより、飯能駅方面に移動ができるようにする。

南高麗地区の現状

南高麗地区の現状

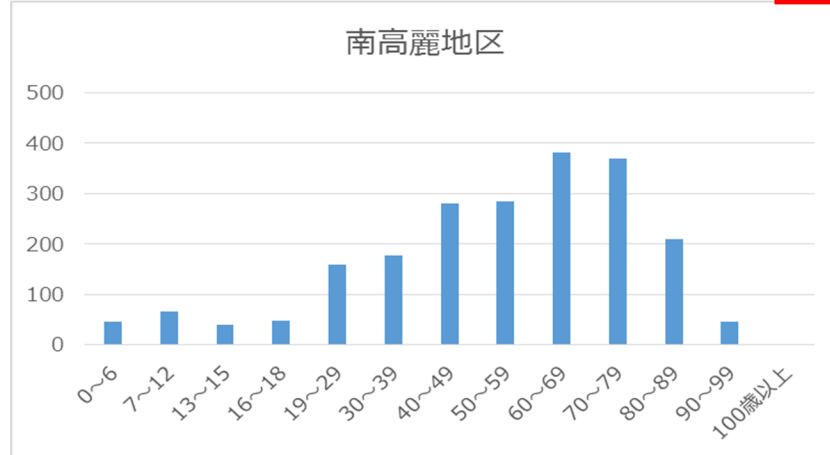
年齢別人口 (R2年1月現在)

丁字名	0~6	7~12	13~15	16~18	19~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~99	100歳以	世帯数	人口総数
南高麗地区	46	66	40	48	159	178	281	284	381	370	209	46	2	903	2110
岩渕	18	29	20	22	93	90	121	144	171	152	88	13	1	415	962
下畑	4	7	5	4	15	22	51	25	38	60	27	3	0	114	261
上畑	6	11	5	6	17	15	43	28	31	48	19	7	0	94	236
苅生	5	5	1	2	7	12	12	21	29	16	14	5	0	50	129
下直竹	8	11	7	8	12	19	32	36	62	67	35	10	0	139	307
上直竹下分	3	2	1	6	10	16	11	26	36	16	19	5	1	64	152
上直竹上分	2	1	1	0	5	4	11	4	14	11	7	3	0	27	63

⇒60歳以上の人口

約50.7%

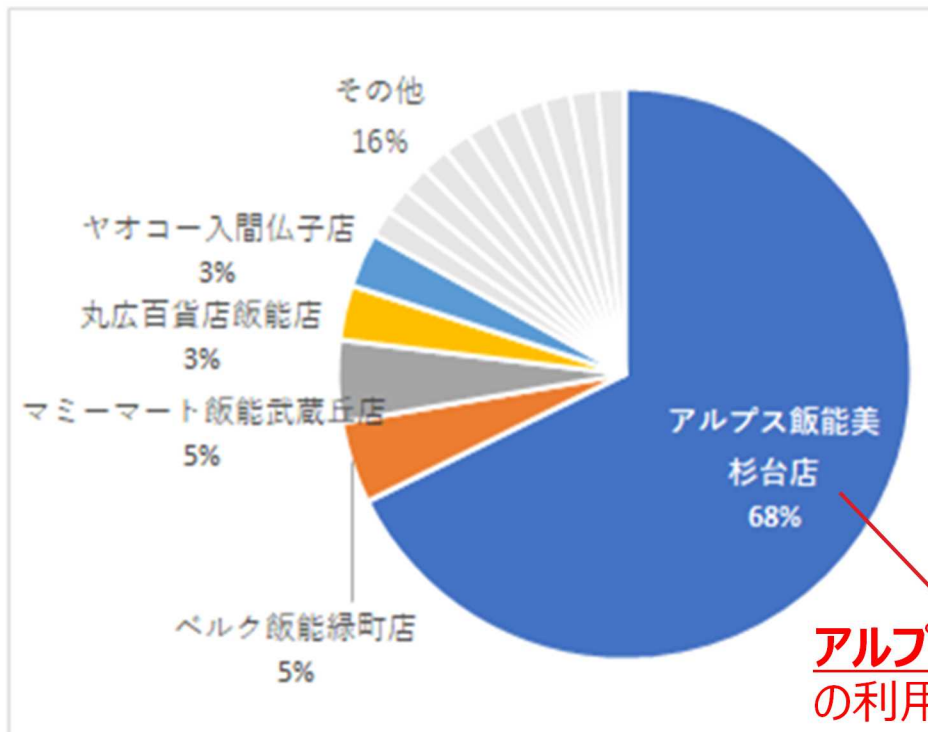
※岩渕を除く地域



南高麗地区の現状

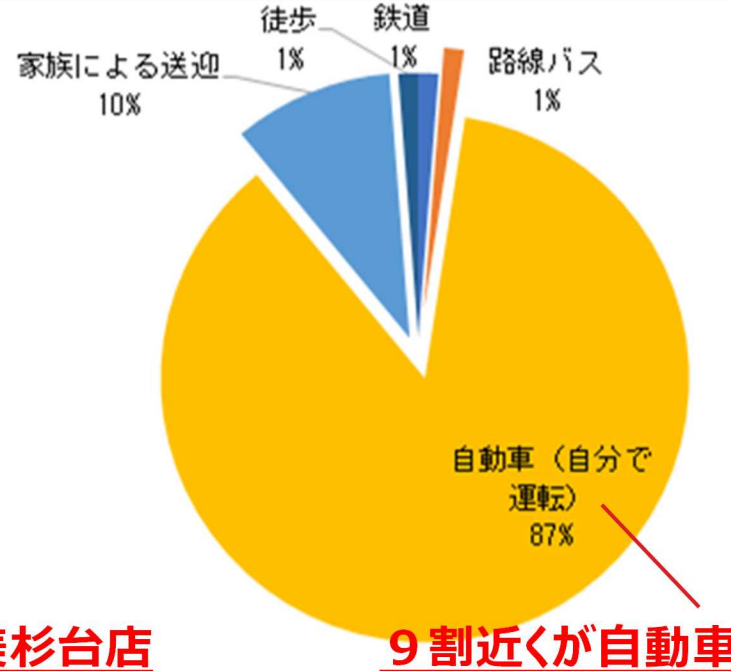
移動の実態など（H29年度実施 市民アンケート調査より）

■ 日常の移動先（食料品の買い物）



アルプス飯能美杉台店
の利用が多い。

■ 日常の移動手段（食料品の買い物）

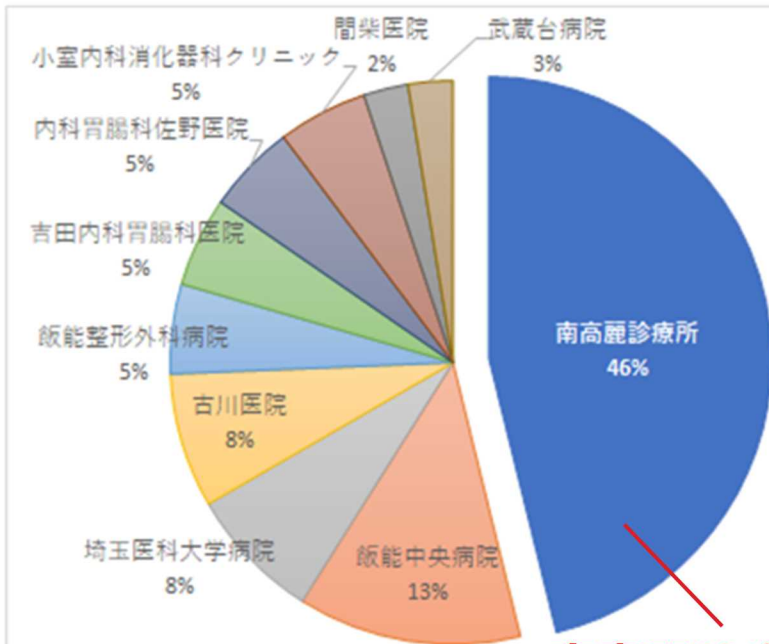


9割近くが自動車

南高麗地区の現状

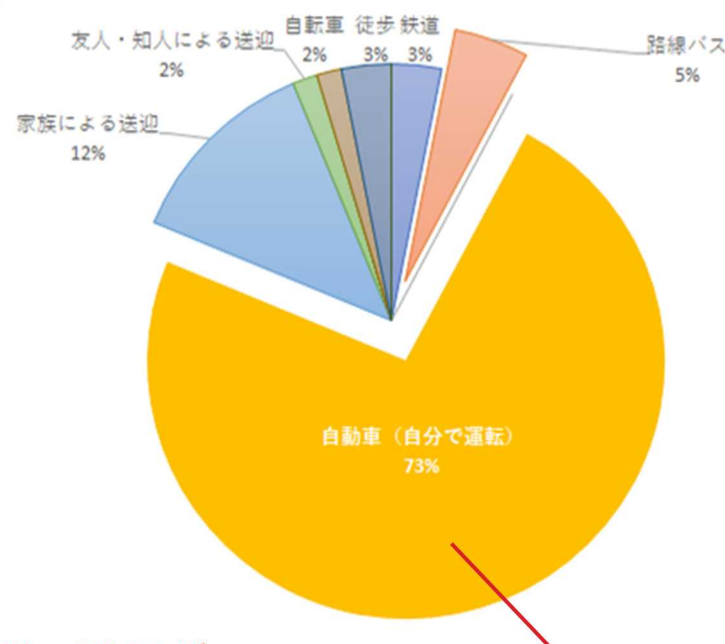
移動の実態など (H29年度実施 市民アンケート調査より)

■ 日常の移動先 (医療機関)



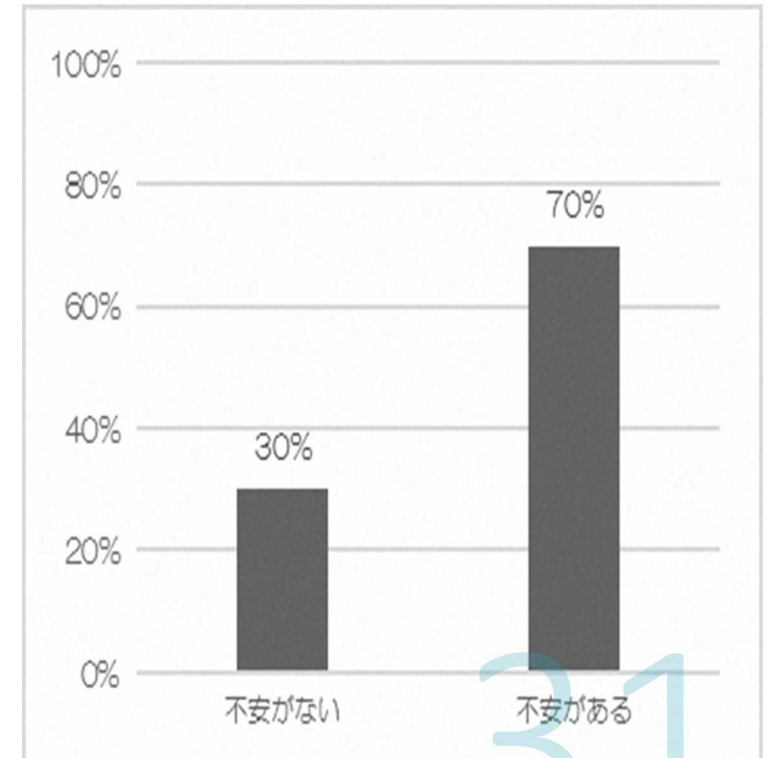
南高麗診療所の利用が多い。

■ 日常の移動手段 (医療機関)



約75%が自動車利用

■ 将来の外出への不安



国際興業バス間野黒指線の現状

概要




■便数 平日5便 土休日5便

時刻	飯能駅行
7	44
8	
9	15
10	
11	
12	
13	
14	
15	20
16	40
17	
18	06

時刻	間野黒指行
7	06
8	35
9	
10	
11	
12	
13	
14	40
15	
16	05
17	30
18	

国際興業バス間野黒指線の現状

公共交通網

-  ...① 国際興業バス 間野黒指線
-  ...② 西武バス 青梅線
-  ...③ 都営バス 成木循環線



東京都

国際興業バス間野黒指線の現状

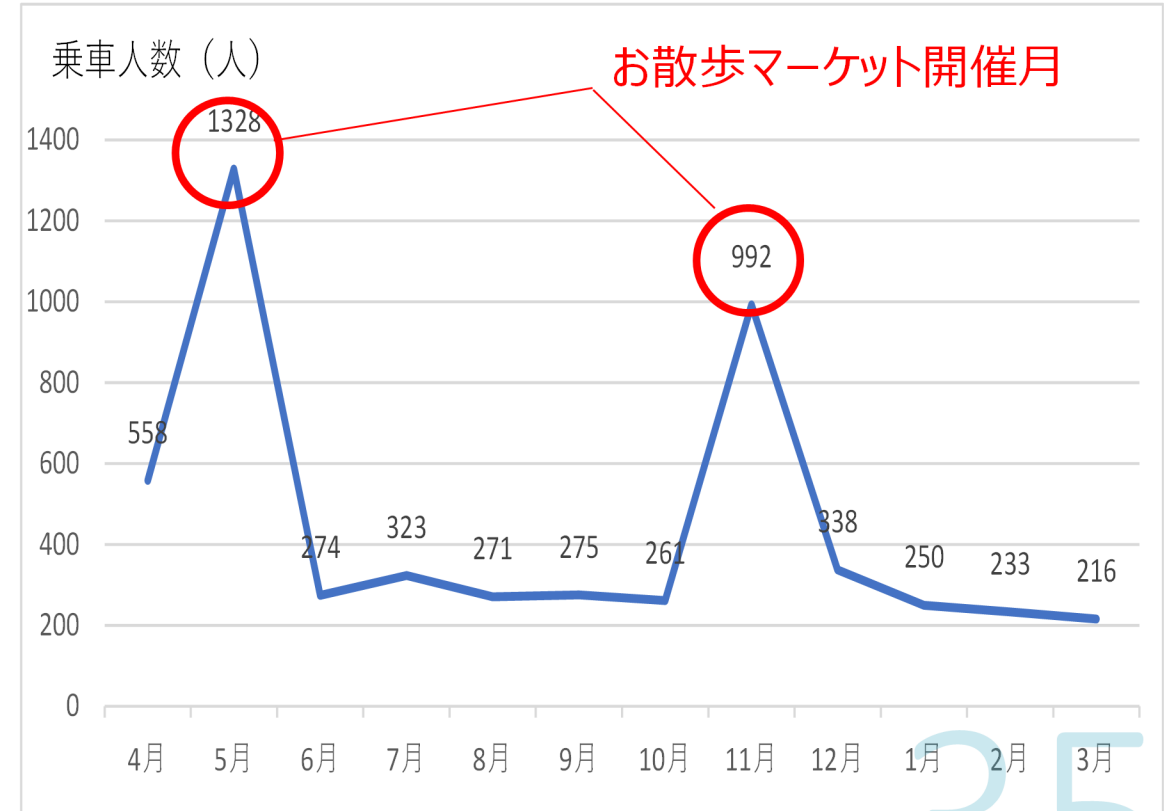
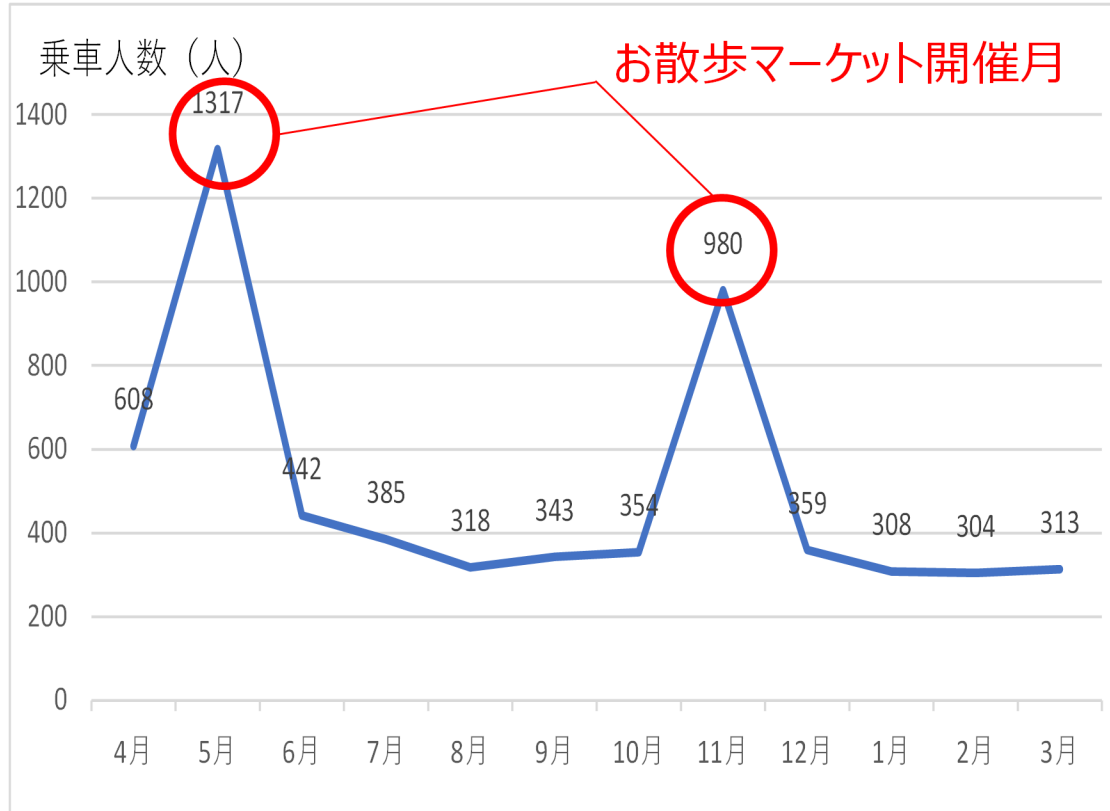
利用状況調査 (R 1 乗降データより)

	下り (飯能駅～間野黒指)	上り (間野黒指～飯能駅)
間野黒指 飯11	<ul style="list-style-type: none">・利用者 便平均3.3人(日平均16.5人)・5月(お散歩マーケット開催月)は他の月の倍以上・お散歩マーケットを除くと、日平均9人～12人程度・乗車 ほとんどが「飯能駅」、次いで「東飯能駅」が多い。・降車 平日は「上畑」、日曜日は「間野黒指」が多い。	<ul style="list-style-type: none">・利用者 便平均2.9人(日平均14.5人)・5月は下り同様に利用が多い。・お散歩マーケットを除くと、日平均7人～10人程度・乗車 平日は「間野黒指」～「大河原」間でまんべんなく分布、日曜日は「間野黒指」が多い。・降車 「飯能駅」が多く、次いで「東飯能駅」が多い。

国際興業バス間野黒指線の現状

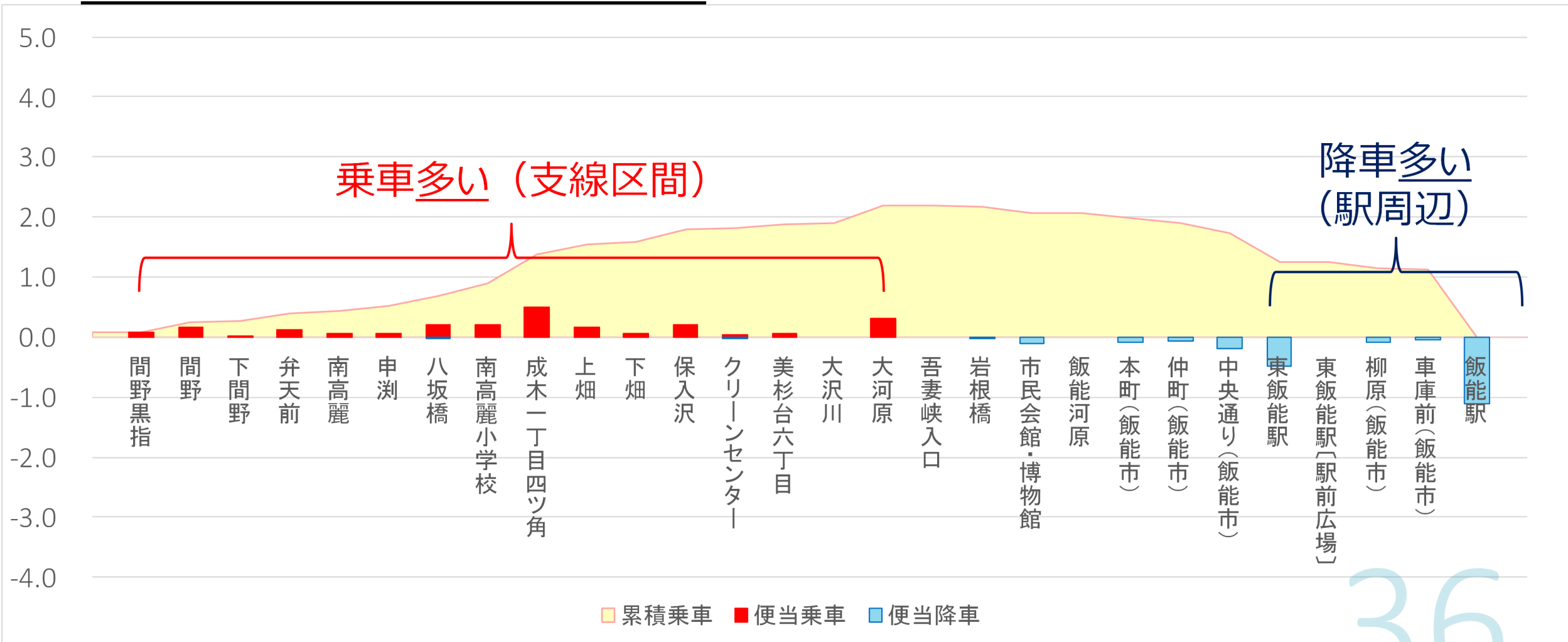
利用状況調査【月別】 (R1年度 乗降データより)

■ 月別の乗車人数



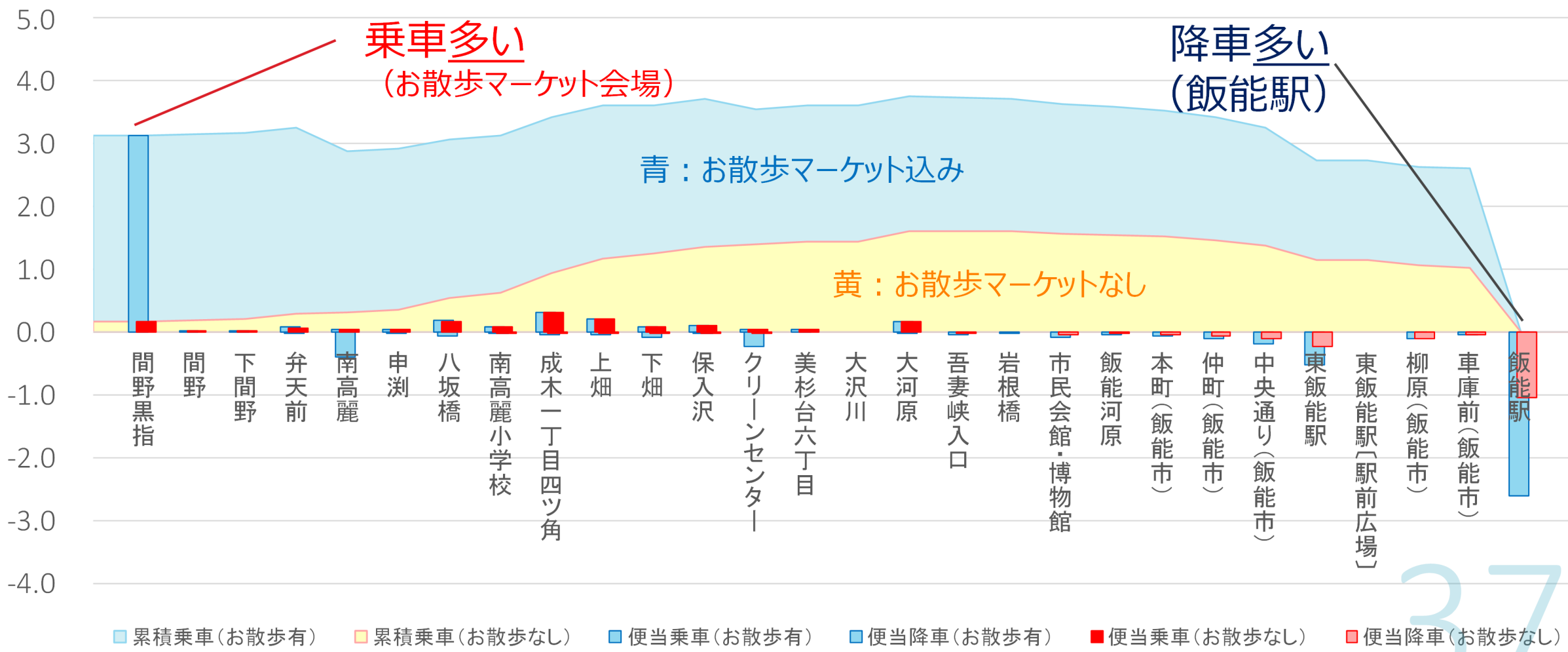
国際興業バス間野黒指線の現状

利用状況調査【上り線・平日】 (R1年度 乗降データより)



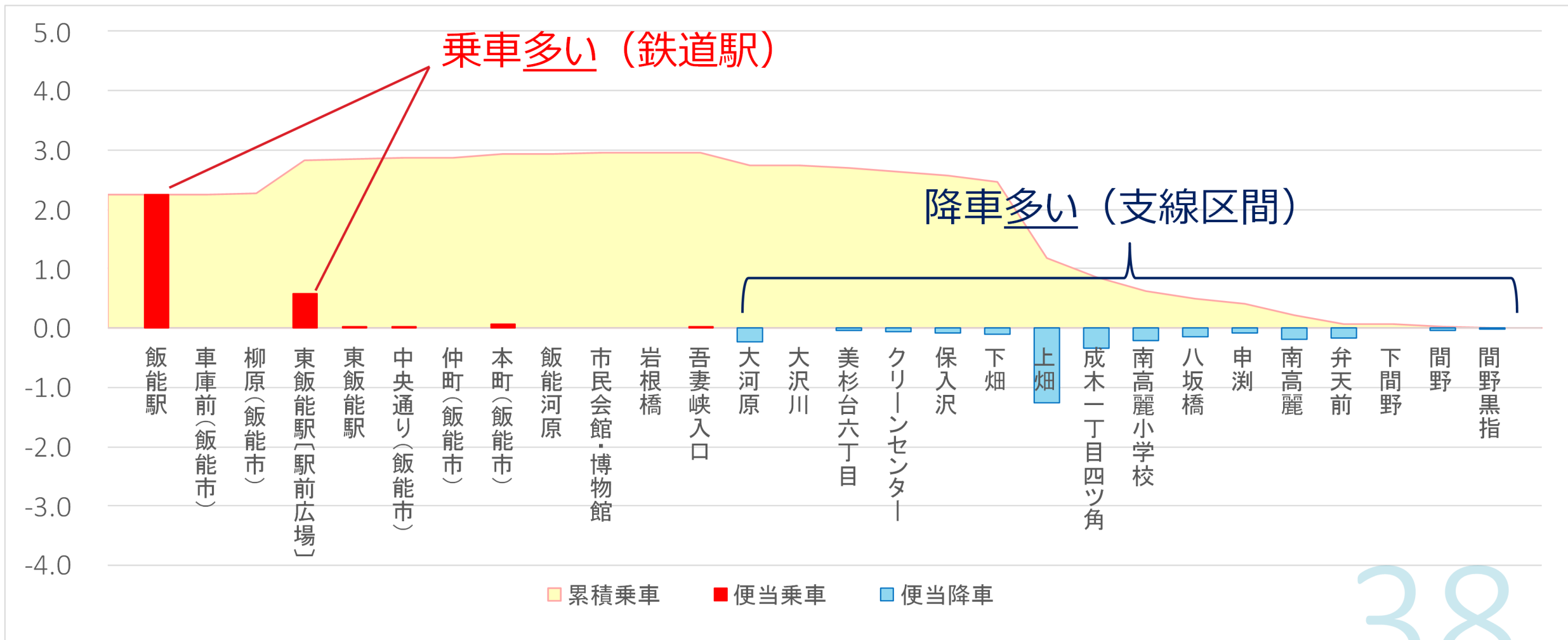
国際興業バス間野黒指線の現状

利用状況調査【上り線・土休日】 (R1年度 乗降データより)



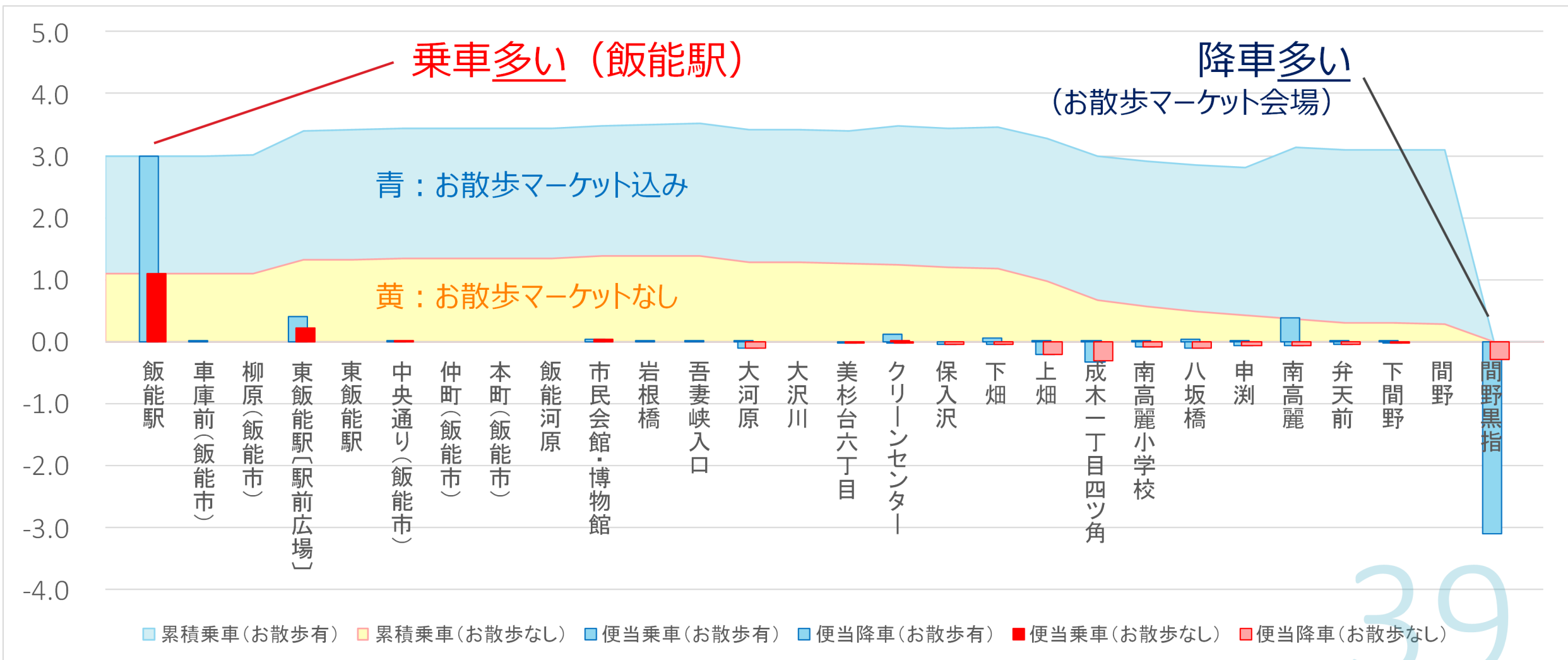
国際興業バス間野黒指線の現状

利用状況調査【下り線・平日】 (R1年度 乗降データより)



国際興業バス間野黒指線の現状

利用状況調査【下り線・土休日】 (R1年度 乗降データより)



国際興業バス間野黒指線の現状

利用状況調査 (R3.1.19実施 乗込調査より)

下り (間野黒指行)

便	小学	中高	一般	高齢	合計
7:06発※	0	0	11	0	11
8:35発	0	0	3	4	7
14:40発	1	0	1	0	2
16:05発	0	1	0	2	3
17:30発	0	2	4	1	7
合計	1	3	19	7	30

上り (飯能駅行)

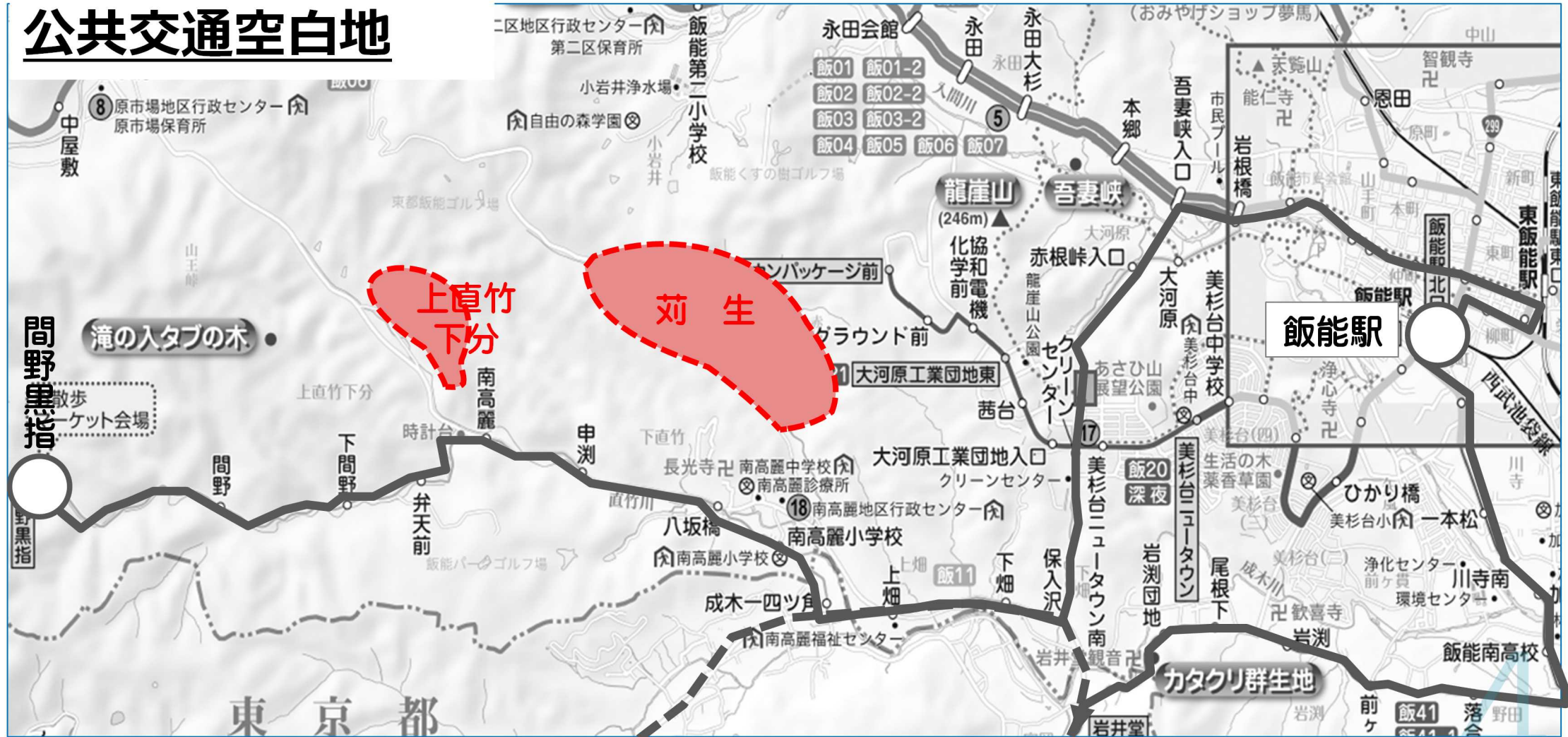
便	小学	中高	一般	高齢	合計
7:44発	4	0	1	1	6
9:15発	0	0	0	1	1
15:20発	0	0	1	4	5
16:40発	0	0	0	0	0
18:06発※	1	0	4	0	5
合計	5	0	6	6	17

⇒ 朝は通勤利用のため比較的 Need がある。

⇒ ※印は大河原工業団地経由便であったが、R2年度をもって廃止した。

南高麗地区の現状

公共交通空白地



南高麗地区の現状

その他の移動手段

① 飯能リハビリ館移送サービス（実証運行中）

- ・路線 間野黒指～小室クリニック
- ・運行 医療法人徳明会 3名

- ・車両 10人乗りワゴン
- ・所管 交通政策室

② 南高麗小学校スクールバス

- ・路線 岩渕～南高麗小、間野黒指～南高麗小
- ・運行 国際興業バス（路線運行）

- ・車両 大型バス
- ・所管 教育総務課

③ 南高麗福祉センター送迎車

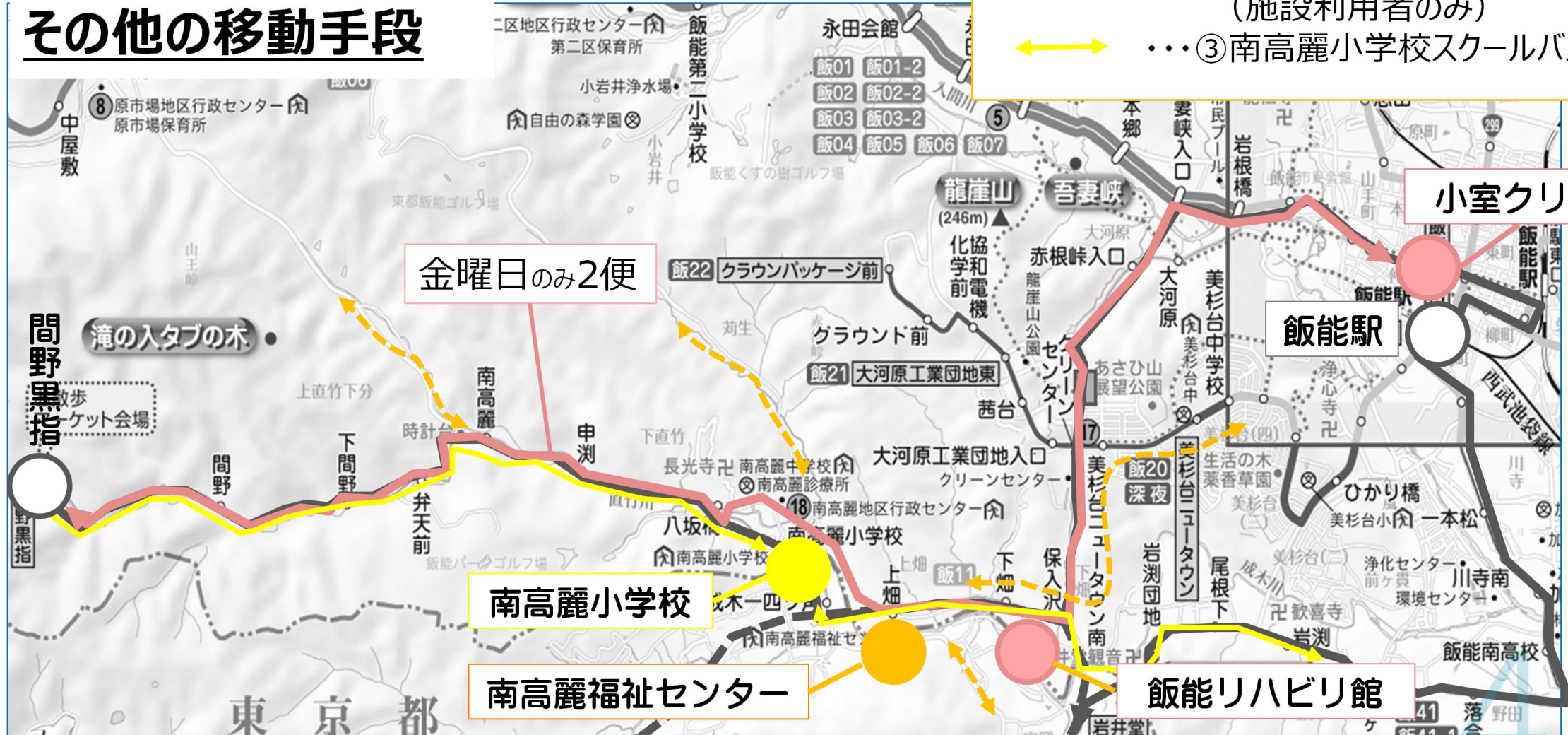
- ・路線 利用者自宅～南高麗福祉センター（利用団体加入者のみ）
- ・車両 10人乗りワゴン（市のリース車両）
- ・運行 有償ボランティアドライバー 2名

- ・所管 地域・生活福祉課

南高麗地区の現状

その他の移動手段

- ↔ ...①飯能リハビリ館移送サービス
- ⋯↔ ...②南高麗福祉センター送迎車 (施設利用者のみ)
- ↔ ...③南高麗小学校スクールバス



まとめ

南高麗地区の現状

- 買い物先は「アルプス飯能美杉台店」、通院先は「南高麗診療所」が多い。
- 苅生などバス停にアクセスしづらい地域が認められる。
- 飯能リハビリ館の移送サービスが実証運行中である。
- その他、南高麗福祉センター送迎車等を活用できる可能性がある。

間野黒指線の現状

- 少子高齢化等の影響で、輸送実績が悪化している。
- 市は毎年約390万円の補助金を交付している。
- 下りは「上畑」の利用が多く、上りは比較的まんべんなく利用されている。
- 朝夕は南高麗小学校スクールバスとしても活用されている。

まとめ

最適化の方向性（案）

- ① 公共交通と社会資源の活用を併せて、**総合的に公共交通網を確保**する。
 - ・地区住民が求める新たな移動手段について検討する。
 - ・地域イベントのあり方を含め、間野黒指線の抜本的な見直しをする。
 - ・飯能リハビリ館の移送サービス等社会資源の活用により、公共交通を補完する。

- ② 軸の路線に接続する「**拠点**」を設ける。
 - ・主に高齢者が、日中の買い物、通院をかなえられる移動手段とする。
 - ・拠点で路線バスに乗り換えることにより、飯能駅方面に移動ができるようにする。